m

三つ星の村

昔々過疎化に悩む７軒だけの小さな村に、おいしいおいしいケーキ屋さんがありました。

村の6人の子どもたちはみんなそのケーキ屋さんのケーキが大好きでした。

やがて子どもたちは大きくなり、遠くの学校や仕事に行くために村を離れて行きました。

ますますの過疎化でケーキ屋さんも大変でしたが、楽天のネットショップを立ち上げてなんとかしのぎました。

子供たちのいなくなった村にまた子供たちが再び帰ってきたとき、その村は７軒のケーキ屋さんのある村になっていました。

子供たちはみんなあこがれのケーキ屋さんになって帰ってきたのでした。

次の年ミシュランは初めて、村に対しての三つ星をこの村に与えました。

それからは世界中のお菓子好きがやってくる賑やかな村になりましたとさ。めでたしめでたし。

秘密

昔々引きこもりの少女は同じく引きこもりの少年にネットで知り合い恋に落ちました。

学校やアニメの話をしているうちに二人とも昭和なものが好きだと分ってとても盛り上がりました。

何度も何度もメールしているうちに今度逢って見る事にしました。

当日、いつもは混んでいるはずのカフェにはipadをを持ったおじいさんとiphoneを持ったおばあさんしか居ませんでした。

お互いに最初に交わしたメールは、まじウケるんですけど、でした。

ちなみに性別も逆だったけれど二人は仲良くなれましたとさ。

めでたしめでたし。

願望

むかしむかしニコニコ動画に投稿を続ける一人の青年がおりました。
青年は３０歳を過ぎても職に就かず毎日オリジナルの美少女キャラを投稿し続けておりました。
ある日中国のあるメーカーの目にとまり商品化され、瞬くまに巨万の富を青年は得る事が出来ました。
やっとお母さんに、いい加減働きなさいといわれる事はなくなりました。
青年は一生、六畳の自分の部屋から出なくて過ごす事が出来ました。
めでたしめでたし。

世代交代

母の菅蛍光は、私のおばあちゃんの灯白熱のところに嫁いできたころそれはもうよく切れられていたそうです。
でもそう語っている母も私からすると相当暑苦しい存在ですけどね。

しかし母に言わせると祖母は手も出せないくらい熱かったと言いますから相当なものだったのでしょう。

最近」国際結婚をした私、ダイオード発光ですが、やたら伸びた寿命に対していささか老後が気になっています。

だって当初6,000円支給されていたのが最近では2.000円を切るって話も出てるじゃないですか。

でも考えてみれば、私たちのタイプが増えれば、もう暑苦しいこと言われなくて済むんでまあめでたしめでたしといったところですかね。

幸せの数

記憶喪失だった僕は、見知らぬ街で助けてもらった美少女と付き合う事になり、初めてのデートで拾った宝くじが当たり、その資金で結婚をして家を建てました。

ある日見知らぬオジサンが家にやってきて、お前が幸せになってどないすんねんと大阪弁でまくしたてました。

驚いた瞬間に僕は自分が天使だったことを思い出しました。

僕は生涯一人の人間しか幸せに出来なかったという最下級の天使の烙印を押されてしまいましたが、不思議と誇らしい気持ちでした。

めでたしめでたし。

うそつき少年の改心もしくは路線変更

ある日、ほら話ばかりしていた少年は友達だけでは飽き足らず、本にしてもっとたくさんの人をだましてやろうと考えてたくさんのほら話をのせた本を出版しました。

たくさんの人が少年のほら話を読んでくれているのが楽しくて、いろんなほら話を考えて出版するうちにネタ切れになってきました。

困った少年は、今度は本当に好きなことも書いてみる事にしました。

いままでよりもっともっと多くの人たちが少年の話に耳を傾けてくれるようになりました。

少年は二度とほら話をすることはありませんでした。

めでたしめでたし。